



現在の電話番号簿（保存版）と「そうじゃ道標」

山 口 久 子

問 市役所の電話番号（保存版）や、そうじゃ道標を各戸に配布しているが、市役所各課の案内だけでなく、社会福祉協議会の情報を入れたり、中高年の方にわかりやすく、保存しやすい大きさと内容にする工夫が必要ではないか。
答 機構改革などのチャンス

を捉えて、より進化したものを作る。「雪舟くん」の時刻表や包括支援センター等の情報も入れる。工夫と進化したものを考える。（以下市長）

少子化対策と空家対策について

問 周辺地域の少子化が急速に進み、空家が多くなっている現状を連動して考え、他地域からの移住を推進してはどうか。
答 幼小中の現状は十分に承知している。学校施設など特長のある学校づくりを考え、他地域から通いたい地域づくりと空家に移住しやすい条件づくりをする。昭和地区など人口減少地域は税制優遇政策などを考える。「定住推進特区」指定をして地域の意識の同調も求めながら子どもたちが増え、人口減少でなく増加にしたい。市営住宅の空室は、条件を変えることはできない。

大 熊 公 平

これからの10年について

問 団塊世代が後期高齢者の仲間入りをするが、健康・福祉・介護予防での対策と指針はどうか。
答 高齢化率が30%を超え超高齢社会を迎えるが、この現実をポジティブに捉え、介護予防を守りでなく攻撃的・積極的に、そして緊張感を持ち取り組んでいきたい。（市長）

問 介護予防は生きがいがづくりが欠かせないと考えるが、生涯学習での高齢者向けの取組はどうか。
答 現在、学校で団塊世代の生きた経験を子どもたちに伝授するために「放課後教室」を始めた。これからも、この世代の豊富な経験を生かした取組を行いたい。また、シニア向けの情報をホームページや冊子にまとめて発信し、地域社会へのデビューの手助け

を行いたい。（教育長）
問 生きがいがづくりのためのボランティアポイント制度に取り組んではどうか。
答 地方主権戦略会議で検討したい。（市長）

問 結婚できにくい時代になっているが、少子化対策のために、行政として婚活パーティーに取り組んではどうか。
答 考えてやっていきたい。（市長）



社会福祉協議会主催の婚活パーティー

剣 持 堅 吾

学校給食調理場について

問 昨年の9月定例会一般質問で、新たに学校給食調理場についての検討委員会を設置し、年度内に結論を出す意向を示した。先般、今後のあり方についての報告書が出されたが、建設に向けてアクセルを踏む決断をしたらどうか。
答 「1か所または2か所での新築移転が望ましい」と、

報告を受けている。是非建設してほしい。（教育長）
答 建て替える決断をする。1か所に統合して経費圧縮するか、2か所体制を維持するかは、今後検討する。実施時期は、他の大型事業を考慮し、財政負担が過重にならぬよう調整する。平成26年度末までに具体案をまとめる。（市長）

市指定ごみ袋について

問 平成22年10月に指定ごみ袋を半額にしたとき、ごみ袋の販売価格に変動相場制を導入し、ごみ減量維持が絶対条件であった。10月で3年になるが、値下げをするのか。
答 半額にした後も、排出量が平成17年度比3割減程度で推移している。排出量減少は市民の頑張りの結果なので、還元したい。値下げ幅は審議会で検討し、10月に再値下げする。（市長）

小 西 利 一

そうじゃ 吉備路マラソンについて

問 10キロ、ハーフ以外のコースを変更できないか。
答 新総社大橋が完成したら、フルマラソンのコースを川西地区まで延長することも考えたい。（以下市長）

小児医療無料化について

対象年齢の引き下げや、

負担の見直しは、市長の選挙公約に違反するのではないか。
答 医療費が今後とも増え続けるようであれば、見直しを図る必要がある。その時は公約違反と言われても仕方ない。

健康づくりについて

問 国民健康保険給付費が年々増加するに伴い、特別会計への繰出しが来年度5億5400万円になっているが、今後の対応策はあるのか。

SOJAILミネーション事業について

問 今後も継続していくのか。
答 来年度も続けていく。
問 こたつライブ等、この事業を盛り上げていく新しいアイデアはあるのか。
答 冬のれとろーどとして、



イルミネーションに合わせ開かれたこたつライブ

一日歩行者天国を考えている。